

令和5年第1回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和5年1月20日(金)
午後2時30分から午後3時10分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 滝 嶋 正 司
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 安 河 内 由 香

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	内 藤 光 重	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
社会教育課長	石 井 巳代子	スポーツ振興課長	奥 富 喜 和
学校教育部長	田 中 義 久	次長兼教育指導課長	宇佐見 昌 義
書 記	神 田 崇 広		

会議の公開・非公開 議案第1号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから、非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和4年度狭山市二十歳の集いの結果について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

1月8日(日)、市民会館大ホールにおいて開催し、該当者1,388人に対し出席者は942人、出席率は67.87%であった。また、動画配信サービスによるライブ配信の総視聴者数は177人であった。今回、フォトスポットを設けたところ、市民会館前の歩道にあふれる参加者がなくなり、歩行者の安全を確保できた旨の報告がなされた。

委員からは、今回、これまでと一味違った二十歳の主張を聞くことができ、とてもよかった。今後も市内で活躍する二十歳の人々の主張を聞く場を設けてほしい旨の要望がなされた。

- ・第45回狭山市人権教育実践研究会について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和5年2月14日（火）、狭山市教育委員会と狭山市人権教育推進協議会の主催により、市民会館中ホールにおいて開催するもので、実践・事例発表では、小中学校教諭、公民館職員のほか、今回、私立幼稚園連合会から狭山ひかり幼稚園理事長の発表も予定されており、その後、越生町立越生小学校長の指導講評をいただく旨の報告がなされた。

- ・令和4年度転入教職員と教育委員との懇談会について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

昨年12月16日（金）に、20名の教職員が出席し、教育センター大研修室で行われた。昨年度と同様に2グループに分かれ、少人数で委員と話しやすい雰囲気の中で行われた。出席者からは、職員室の雰囲気の良さや外部人材との良好な関係、初任者や転任者への優しい接し方、管理職の声かけもあり、温かい雰囲気の中で仕事ができていることなどの話があった。本市に慣れて、それぞれが、自身の指導力などを発揮して、各学校で活躍している様子が分かった。引き続き本市での更なる活躍を期待している旨の報告がなされた。

委員からは、年1回の貴重な機会であり、普段見ることができない面を見ることができた。転入教職員に早く慣れてもらうことが大事であり、これからも話を聞かせてほしい旨の要望がなされた。

- ・令和4年度公費による実用英語技能検定結果（中学3年生、第1回・第2回）について

報告者（学校教育課次長）

（要旨）

狭山市立中学校3年生全員を対象に、2級から5級のいずれか一つ、年1回分の検定料を公費で支出するものであり、1次試験のみ所属の中学校で実施した。高校生卒業程度である2級及び、高校中級程度である準2級にチャレンジする生徒もいて、中学卒業程度の英語力に相当する3級を取得済みの生徒が3分の1いることが分かる。筆記で知識を問う問題が主の1次試験の合格率は高くはないが、話す力を問う2次試験の合格率は80%半ばであり、3級の2次試験の結果も同様である。このことは、聞く・話すを得意とする狭山の英語に加え、各校における先生方による面接対策の結果と考えている。受験者数は1,071名であり、普段休みがちな生徒にも声をかけ、別室などの対応も行ったが、当日欠席の者もいたため、受験率は100%には至らなかった。なお、教育センター一適応指導教室も会場として登録し、数名が受験した旨の報告がなされた。

委員からは、英語検定試験もかなり定着してきており、英語検定試験に向けた学校の取組について、過去問を印刷して生徒に配付したのであれば、それを解いてきた生徒に添削して返すことも必要では。また、引き続き定期テストに

も似た問題を出し、受験の意識づけをした方がよい。さらに、英検によく出る対話文もピックアップして取り組むことが必要である旨の意見がなされた。

・令和4年度スクールカウンセラー活動状況等について

報告者（学校教育部次長）

（要旨）

4月から12月までの相談実件数は、中学校192件、小学校128件であり、相談内容は、中学校では不登校が最も多く、次いで心身の健康、学業・進路、友人関係、家庭環境等となっている。小学校でも不登校が多く、発達障害が原因として上がっているが、教職員との関係も上がっているのが気になる。スクールカウンセラーが関わった児童・生徒の状況を見ると、月1回程度訪問する小学校に比べ、週1回訪問する中学校での生徒との関わりが多くなっており、小学校でも相談できる機会が多くあれば、相応の数になることが予想される。なお、スクールカウンセラーが関わった相談の改善・解消については、小学校で1件ありその相談は解消された。不登校に関する相談は、中学校67件、小学校31件であり、その多くは何らかの改善がなされている旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、訪問した中学校でも不登校が多く、現場の大変さがよく分かった。何らかの対策を考えているのかとの質疑に、教育委員会としても不登校を重く受け止めており、特に小学校の段階で未然防止できるよう、相談員の増員などの手立てを考えている旨の答弁がなされた。

不登校の主な原因はとの質疑に、無気力が一つの大きな原因と考えている。しかし、他にも家庭の状況や友人との関係などの原因もあるが、これが原因ということが不明確になっている状況である。いろいろな原因が輻輳して不登校になり、一回躓いてしまうと立ち直れない状況が続き、休みがちになることは把握している旨の答弁がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（スポーツ振興課長）

（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係3件、スポーツ振興課関係1件、教育指導課関係2件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

・その他

「書家・牛窪梧十の世界～講演&実演会～」について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

2月19日（日）、入曽地域交流センター大ホールで開催し、令和3年度恩賜賞・日本芸術院賞受賞式についての講演や実演会、書の展示を行う予定である

の報告がなされた。

議 案

議案第1号 狭山市教育委員会委員の辞職の申出に関し同意を求めることについて
狭山市教育委員会委員吉川明彦氏から教育委員会委員を辞職したい旨の申し出があり、本件に同意することについて教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

(吉川委員の一身上に関する事案のため、暫時吉川委員は退席)

議案第1号については、同意した。

以 上